

会 議 要 旨

会 議 の 名 称	第 14 回川越市介護保険事業計画等審議会	
開 催 日 時	令和 6 年 1 月 23 日 (火) 14 時 00 分 開会 ・ 15 時 00 分 閉会	
開 催 場 所	ウェスタ川越 多目的ホール B・C	
議 長	齊藤正身会長	
出 席 委 員	小林範子委員、中野委員、牛窪委員、池浜委員、田畑委員、高橋委員、宮山委員、川越委員、菊池委員、平島委員、荻野委員、佐藤委員、入江委員、長峰委員、藤崎委員、村田委員、米原委員、小林松十郎委員、横田委員、中原委員、粕谷委員 (22 名)	
欠 席 委 員	なし	
事 務 局 職 員	福祉部 高齢者いきがい課 介護保険課 健康づくり支援課 地域包括ケア推進課	新井部長 犬竹参事、内門副課長 新井課長、内田副課長、松百主幹、 秋庭副主幹、高橋主任 清水副課長、有馬主幹 富田課長、福島副課長、内藤副主幹、 関根主査、星野主任、三ツ目主任
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 報告 (1) 第 13 回川越市介護保険事業計画等審議会について (2) 介護サービス見込量及び保険料 (概算) の変更について 4 議事 (1) パブリック・コメントの結果について (2) 「すこやかプラン・川越ー川越市高齢者保健福祉計画・第 9 期川越市介護保険事業計画ー」の原案について (3) 答申 (案) について 5 その他 6 閉会	

配 布 資 料	1 次第
	2 資料 1 第 13 回川越市介護保険事業計画等審議会会議要旨
	3 資料 2 介護サービス見込量及び保険料（概算）の変更について
	4 参考資料 介護サービスの見込量と保険給付費見込額（報酬改定後）
	5 資料 3 川越市高齢者保健福祉計画・第 9 期川越市介護保険事業計画（原案）に対する意見募集の結果
	6 資料 4 第 9 期計画書（原案）
	7 資料 5 川越市高齢者保健福祉計画・第 9 期川越市介護保険事業計画について 答申（案）
	8 当日配布資料 <ul style="list-style-type: none"> ・委員名簿・事務局名簿 ・参考資料 2 掲載予定のイラスト（一部抜粋） ・参考資料 3 資料 4 差し替え ・「第 20 回川越市市民健康講演会」チラシ ・「ラジオ体操と健康に関するセミナー ラジオ体操実技講習会」チラシ ・「川越市生活習慣病予防講演会」チラシ

議 事 の 経 過

	<p>1 開会</p>
会長	<p>2 あいさつ 会長あいさつ</p>
	<p>3 報告</p>
事務局	<p>(1) 第13回川越市介護保険事業計画等審議会について 【資料1】を基に事務局より報告。</p>
会長	<p>事務局からの報告に対して質問はあるか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
事務局	<p>(2) 介護サービス見込量及び保険料(概算)の変更について 【資料2】を基に事務局より報告。</p>
会長	<p>事務局からの報告に対して質問はあるか。</p>
委員	<p>「1 サービス見込量の変更について」の「②在宅医療等の追加的需要分の反映について」だが、なぜ89名ではなく49名と見込んでいたのか。 それに関連して、参考資料P6の(3)施設サービスの2段目、介護老人保健施設(以下、老健)の令和6年度、令和7年度の利用者数が、40名増加されているが、既存施設のベッドの増床を行うことを意味しているのか。 その他、意見として「4 準備基金の活用と保険料基準月額」について、介護サービス見込量が約20億円増加することにより、保険料基準月額が前回より124円増加と変更になる。保険料基準月額については妥当と考えている。</p>
事務局	<p>「②在宅医療等の追加的需要分の反映について」は、在宅医療の方が増えるといった時に、その中間点である老健の方でまずは需要が見込まれると思う。今、老健の稼働率がそこまで高くないので、まずは在宅に移る前に老健に入り、在宅に向けた入所があると思い40名を見込んだ。残りの49名は、施設整備・基盤整備の方で定員が増える部分を見込んだものである。 参考資料P6、老健の見込みの増加は、施設の増床による見込みではなく、老健の稼働率が令和5年度の調査で84%ほどであったので、在宅医療に移る人が、その前に老健を利用するのではないかと見込んで、増加させたものである。</p>

会長	地域包括ケア病棟という医療の病棟があるが、老健と役割が重なる。今まで急性期の病院から老健に移っていた人たちが、同じ病院の中の地域包括ケア病棟でリハビリをして体制を整えてから、直接在宅に帰るというケースが増えている。
委員	川越市の調整交付金は、何%になっているのか。 また、介護保険料の所得段階の設定をどのように検討しているのか。
事務局	調整交付金の率は、2.28%ほどが自動計算にて見込まれている。 次に所得段階の設定は、国から13段階以上と指定されていて、それを大きく超える段階設定はしないようにと考え、13段階を基本に、14、15段階くらいまでで検討をしている。
委員	第8期期間と大きく変えることはないという考え方でよいか。
事務局	今の保険料の考え方を踏襲し、それを分割していくような形で考えている。
	4 議事
	(1) パブリック・コメントの結果について
事務局	【資料3】を基に事務局から説明。
会長	パブリック・コメントなので、意見した人の言いたいことと答えていることが必ずしも一致するとは限らないが、ほぼ行っていると思う。この辺りをもう少し充実させていくためには、とても貴重な意見として参考にさせていただく。
委員	会長が言われたように、私もこの内容・意見の概要と市の考え方のところズレがあると感じた。これは、一般の公になる公文書に書くということか。
事務局	そのとおり。
委員	そうすると、意見の概要と意見に対する市の考え方はかなりズレがあり、なかなか理解できないと思った。こういう差が何で出てきたかということについては、例えば、意見として「シャトルやデマンド、道路整備が追い付いていない」ということについて、それについては市の方にはシステムはあり、第4章の具体的な施策の展開のところでも今回組み込んではあるが、これを、「意見に対する市の考え方」でも回答をわかりやすく書き、計画が具体的な場づくりになっているというところも入れていった方が、市民の意見を大切にしているという意味合いでよいのかと思う。せっかく貴重な意見をいただ

	<p>いているので、それを大切にしたいと考えた。検討いただければと思う。</p>
会長	<p>もう少し具体的に、何ページにこういう記載があり、こういう風に行うという言い方が入るとよいかも。的外れではないが、完全な正解とは言えないのもあると思う。</p>
事務局	<p>今の道路整備については、資料3の2ページの左のところに、「原案の該当ページと項目」という形で、49ページと項目が書いてある。</p>
会長	<p>該当ページが一番初めに書いてあるということだが、文章の書き方だと思う。「何々をご覧ください」という言い方にしてはどうか。</p>
委員	<p>ご意見に対するフォローをしっかりとされた方が、また次の意見が出てくると思うので、大切にいただければと思う。</p>
会長	<p>高次脳機能障害関係が結構多いが、市だけで解決できないこともあり、現在取り組んでいるということとどまっているのは致し方ない気もする。</p> <p>7件のご意見があったので、反映できるようにしていきたい。</p>
事務局	<p>(2)「すこやかプラン・川越一川越市高齢者保健福祉計画・第9期川越市介護保険事業計画」の原案について</p> <p>【資料4、参考資料2、参考資料3】を基に事務局より説明。</p>
会長	<p>事務局からの説明に対して質問はあるか。</p>
委員	<p>これまで第1期から8期まで、どのくらい保険料基準額が上がってきたのか振り返ってみた。第2期から4期の時は、25%や15%と結構値上がりしていたかと思う。第6期の時には値上げせず、第7期の時にはマイナス2%ということもあったが、前は8%の値上げ、そして今回は様子を見るということで、なかなか低く抑えるというのは難しいと思うが、物価高とか今の状況を見たら、できるだけ保険料を上げない方向で検討してほしい。</p> <p>また、所得段階については、国も増やすように言ってきており、川越市は国よりも多くの段階をつけて低所得の方の負担を減らすという方向と聞いたので、その方向で進めていただければと思う。その辺りも考慮した上で提言を出していただければと思う。</p>
会長	<p>第6期から私は関わっているので責任は感じているが、なるべく上げないように工夫して第6期からずっと来たので、何とか維持していきたいと思う。他の市町村では結構上がっているが、上げなければならない部分もあるので、</p>

委員	<p>なかなか難しいところだと思う。</p> <p>P109 の「4 介護予防・日常生活支援総合事業等の見込量」の区分の訪問介護という表記について、括弧内の旧介護予防訪問介護相当はよいのだが、その上の訪問介護というのは、前回の資料だと、訪問介護ではなく訪問型となっていたと思う。訪問介護だと要介護の人になってしまうと思うが、どうか。本日の見込量の参考資料を見ても、総合事業を見ると、訪問型、通所型となっている。</p>
事務局	<p>発言のとおり、訪問型サービス、通所型サービスと考えるので、精査して、訂正する。</p>
委員	<p>事務局では well-being というものを前面に出したいということであったが、審議会で議論を続けてきた健幸をテーマに作成していただき、59 ページでコラムとして取り上げてもらった。well-being の説明が大変わかりやすくされていて、こんなところに審議会での意見を取り入れて完成していただいたと、とても象徴的に感じた。</p>
会長	<p>資料編を見ると、圏域の差がこんなに大きいと思い、一律の対策ではなかなか難しく、圏域ごとに重点を置かなければならないところが変わってくるのだということは改めて感じる。地域包括ケアシステムを進めようというのは正にそこだろうと思うので、これをベースにして各圏域で頑張ってもらえればということだろう。</p> <p>それでは、微調整はあるが、この形で事業計画を完成させたいと思うので、よろしく願います。</p>
事務局	<p>(3) 答申(案)について</p> <p>【資料5】を基に事務局から説明。</p>
会長	<p>事務局からの説明に対して質問はあるか。</p>
委員	<p>変更ではなく、下から3行目、「計画策定後は、各委員の意見を尊重しながら」という文章を入れていただいて、委員としては非常に嬉しい文章である。</p>
委員	<p>全体の文章で「～ながら」というところがかかなりある。公文書ということであれば、簡潔に、「しつつ」とか、文言を少し変えた方がよい。</p>
事務局	<p>検討する。</p>

会長	答申の当日は、皆さんを代表して、私と、副会長の2人で対応をさせていただきたいと思う。
全委員	(了解する)
	5 その他 (事項なし)
副会長	6 閉会 【あいさつ】
会長	【あいさつ】
福祉部長	【あいさつ】